



新作アニメーションルームのための参考図版

OSGEMEOS "Experience" 2023, mixed media animation installation, photo:OSGEMEOS

次回展のご案内

オスジェメオス+バリー・マッギー One More 展

会期：2025年10月17日[金] → 2026年2月8日[日]

休館日：月曜日(11/3、11/24、1/12は開館)、12/31-1/3 開館時間：11時より19時まで

入館料：大人 1,500円 / 大人ペア 2,600円 / 学生(25歳以下)・高校生・70歳以上の方・身体障害者手帳、療育手帳、
精神障害者保健福祉手帳お持ちの方、および介助者(1名様まで) 1,300円 / 小・中学生 500円

主催：OSGEMEOS + Barry McGee 展実行委員会

[ワタリウム美術館 / 駐日ブラジル連邦共和国大使館 / PERROTIN / 株式会社kurkku alternative]

助成：アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

会場：ワタリウム美術館 + 屋外 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6

Tel: 03-3402-3001 Fax: 03-3405-7714 Email: official@watarium.co.jp

URL: <http://www.watarium.co.jp>

WATARI-UM
The Watari Museum of Contemporary Art





参考図版

Barry McGee and OSGEMEOS "Untitled" 2024
Acrylic and spray paint on wood
photo:OSGEMEOS



新作レコードショップのための参考図版

OSGEMEOS: Cultivating Dreams / Barry McGee: Talk to Nature
Lehman Maupin, New York, 2024

2025年、ワタリウム美術館で開催される「One More」は、単なる展覧会を超えた、家族の集まりのようなものだ。私たちオスジェメオスとバリー・マッギーがまっさらな空間で出会い、そこで即興や物語が自然と生まれてくる。美術館の空間やフロアを埋め尽くしていくさまは、バンドがそれぞれ自分の最高の音を出しながら、即興で曲を作っていく過程に似ている。

私たちは、1993年、私たちの故郷サンパウロでアーティスト・イン・レジデンスをしていたバリーに出会った。以来、永遠の友情とクリエイティビティの絆が築かれてきた。バリーと共に開催するこの展覧会は、ドローイング、絵画、彫刻、インスタレーション、パフォーマンス、ビデオアートなど、膨大な言語と技術を背景に持つこの二組の国際的な現代アーティストを日本、東京に紹介する機会である。

「One More」は、日本の観客にとってユニークな体験となるだろう。想像力の扉を開き、遊び心溢れる、造形的で、アナーキーな抽象の世界にダイブする。

この展覧会は、バリー・マッギーとの強い絆と関係性から、私たちにとっても最も重要な展覧会のひとつとなるだろう。

オスジェメオス

君たちの世代が街を取り返す。とは、現在、世界で最も注目されるストリートアーティスト、バリー・マッギー（1966年サンフランシスコ生まれ）の言葉です。

本展は1998年サンフランシスコ近代美術館で巨大な壁画を発表し、同館のコレクションに選定され、さらに2001年ベニスビエンナーレで世界最大の壁画のインスタレーションを制作したバリー・マッギーと、昨年から約1年間にわたりワシントンのハーシュホーン美術館で大規模個展を開催したオスジェメオス（1974年ブラジル、サンパウロ生まれの双子の兄弟）の二組による、世界初のコラボレーション展です。街のエネルギーから生まれた彼らの作品が、自由でエネルギー溢れる新しい力を見せてくれることでしょう。

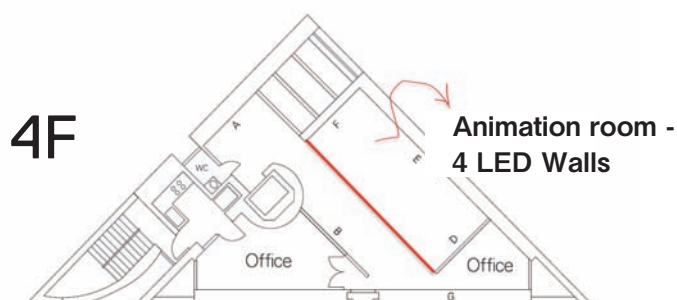
主な展示予定

図版は参考作品です。実際の展示とは異なる場合がございます。



新作アニメーションルームのための参考図版 -Design for the wall

4面LEDで覆われ、天井も床も鏡張りの空間のアニメーションルームを制作します。
その中で彼らの作品が無重力に飛び回り、宇宙空間のような錯覚をつくる試みです。





会場内に街の一部としてレコードショップの
インスタレーションを登場させます。

彼らの作品は音楽と強い結びつきがあり、
街のリアルなエネルギーから出発したことが
感じられます。

オスジェメオスとバリー・マッギーの壁画作品
も多数展示されます。

新作レコードショップのための参考図版

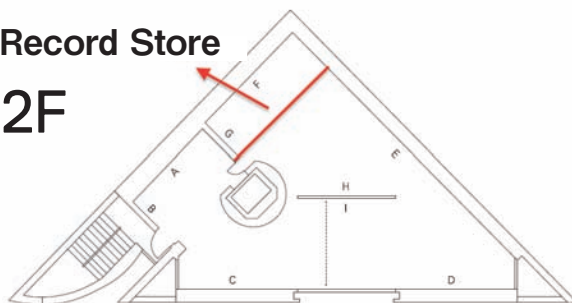
OSGEMEOS: Cultivating Dreams /

Barry McGee: Talk to Nature

Lehman Maupin, New York, 2024

Record Store

2F



Barry McGee "Untitled" 2023
gouache, aerosol, and vinyl on paper

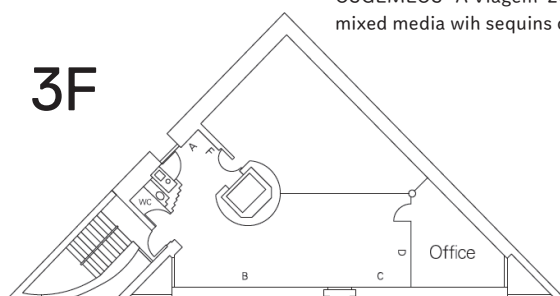


参考図版

OSGEMEOS "A Viagem" 2025

mixed media with sequins on MDF, photo: Filipe Berndt

3F



屋外展示：向いの空地

ワタリウム美術館向いの空地の屋外スペースに
大きな壁面を仕立て、
二組のコラボレーション作品を展示する予定。
道ゆく人々へのメッセージとなります。



参考図版

OSGEMEOS "Giant" 2022
Mural produced by Festival MURAL
in Montreal, Canada
photo:OSGEMEOS

関連プロジェクト

本展の開催に先駆け、昨年、2024年9月-12月に、ワタリウム美術館の大規模修繕用の工事幕として、当時、ワタリウム美術館で展覧会を開催中だったSIDE COREの作品に加え、バリー・マッギー、オスジェメオスの作品を20×20メートルのファサードに掲げ、展示しました。突如、東京の街の中に現れた大きな壁画が話題になりました。



(From left)
OSGEMEOS, Barry McGee,
SIDE CORE at WATARI-UM. 2024
photo:Shuji Goto

問い合わせ先

ワタリウム美術館 Tel:03-3402-3001 Fax:03-3405-7714 official@watarium.co.jp

公式ホームページ： <http://www.watarium.co.jp/>

※ 内容が更新・変更した場合、公式ホームページ／SNSにて随時公開していきます。



Barry McGee and OSGEMEOS
photo:Jasmine Levett

オスジェメオス／OSGEMEOS

1974年、ブラジル・サンパウロ生まれ。双子の兄弟のアーティストデュオ。
彼らの活動は、彼らがブラジルに上陸したばかりのヒップホップカルチャーと現代アートに夢中になったことからスタートした。ダンス、音楽、壁画運動、ポップカルチャーの影響も受け、陽気で唯一無二のスタイルを築き上げ、ブラジル、そして世界の都市空間を象徴する存在となった。近年のプロジェクトとして、ハーシュホーン美術館（ワシントン、2024）、オスカー・ニーマイヤー美術館（クリチバ、2021）、サンパウロ州立美術館ピナコテカ（2020-2021）、フリスト美術館（ナッシュビル、2019）、ハンブルガー・バーンホフ現代美術館（ブレイクダンスグループ Flying Steps との協働、ベルリン、2019）、マットレス・ファクトリー（ピッツバーグ、2018）、ピレリ・ハンガービコッカ（ミラノ、2016）、ポンタウ博物館（リオデジャネイロ、2015）、ボストン現代美術館（2012）などでの個展がある。

バリー・マッギー／Barry McGee

1966年サンフランシスコ（米国）生まれ。
1992-97年、サンフランシスコ芸術基金、その他のコミッションワークとして、市内各所にて壁画制作を行なう。1998年、サンフランシスコ近代美術館で巨大な壁画を制作し、同館のパーマネント・コレクションに選定された。同年、ミネアポリス、ウォーカー・アート・センターで、初の個展を開催。全米のアート・シーンに衝撃を与えた。2001年、ベニス・ビエンナーレに史上最大のインスタレーション作品を出品。バリー・マッギーは、常に既存のカテゴリーに収まらない作品や展覧会を生み出してきた。これまでに世界中の美術館や諸機関において個展を開催。一方、「TWIST」というタグ名で知られるグラフィティ・アーティストとしての彼の活動は、あくまでもストリートやコミュニティに対する意識を持ち続けることで継続された。それらは、ストリートで生きる人々をテーマにつくり続けられている。
主な個展に、「SB Mid Summer Intensive」サンタ・バーバラ現代美術館（2018）、「Barry McGee」ボストン現代美術館（2013）など多数。